

Table with header information including: 事務事業名 (市民バス運行管理事業), 所属部 (政策企画部), 所属課 (うんなん暮らし推進課), 政策名 ((Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>), 所属G (定住・公共交通グループ), 施策名 ((13)公共交通ネットワークの充実), 担当者名 (藤本 万葉), 電話番号 (0854-40-1014), 基本事業名 ((037)多様な交通サービスの提供), 予算科目 (011002057503).

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

Table for (1) 事業概要 containing: ① 事業期間 (単年度のみ checked, 単年度繰返 (H16年度~)), ② 事業内容 (市民の交通手段の確保を図り、公共の福祉の増進に資するため、道路運送法第79条の規定により市町村運営有償運送バスを運行する事業。)

(2) 事務事業の手段・指標

Table for (2) 事務事業の手段・指標 containing: ① 主な活動 (R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) and R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)), ② 活動指標 (Table with columns: 単位, H29年度(実績), H30年度(実績), R元年度(実績), R2年度(計画)).

(3) 事務事業の目的・指標

Table for (3) 事務事業の目的・指標 containing: ① 対象 (誰、何を対象にしているのか) (市民), ② 意図 (対象がどのような状態になるのか) (市内での移動(通院・通学・買い物等)を快適、円滑にできる。), ③ 対象指標 (Table with columns: 単位, H29年度(実績), H30年度(実績), R元年度(実績), R2年度(計画)), ④ 成果指標 (Table with columns: 単位, H29年度(実績), H30年度(実績), R元年度(実績), R2年度(計画)).

(4) 事務事業のコスト

Table for (4) 事務事業のコスト containing: ① 事業費の内訳 (1年度決算) (【市民バス運行事業】計163,364千円), ② コストの推移 (Table with columns: 単位, H29年度(決算), H30年度(決算), R元年度(決算), R2年度(計画)).

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table for (5) 事務事業の環境変化、住民意見等 containing: ① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか?), ② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?), ③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?).

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 運行形態やルート・便数・時間帯など市民バス運行を見直し、より効果的効率的な運行を図り、利便性を維持向上させていくことで、利用者の満足度を高めることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	理由 児童・生徒や高齢者など交通手段が限られる方の移動手段が無くなるため、市民生活への影響は大きい。高齢者の買い物や、子どもの通学が大変不便になり、生活環境に支障をきたす。
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) スクールバス管理事業。 理由 一般利用者の少ない混乗型スクールバス(特に夕方以降の時間帯)を専用スクールバスに替えることで、児童生徒の帰宅時間に応じた効率的で柔軟な運行ができる。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	理由 運行管理業務委託費については、最低単価等で設計しており、運行業者公募入札の際も不落が発生した。安全運行及び管理体制等を重視すると、これ以上の事業費の削減は難しい。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 管理システムを導入して、契約事務や仕様書等作成の簡素化・アウトソーシングを図ってきており業務時間の削減ができたところであるが、それも限界があり、また人員数も最少限度であるため、これ以上の削減余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市民バス運行は、交通弱者の市内移動手段であり、公平・公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人口減少・少子高齢化が進む中、市民バスの利用者についても年々減少している現状にある。しかしながら、交通弱者の生活基盤となる移動手段を確保し、継続的な市民バス運行を行っていく必要があるため、当該事業は適切である。ただし、引き続き利便性向上を図る必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
交通弱者の移動手段を確保し、地域にとって望ましい持続可能な公共交通を目指し、抜本的な運行形態の見直しも含めて引き続き事業展開を検討していく。																						